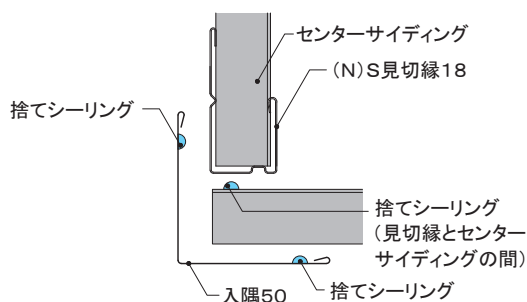


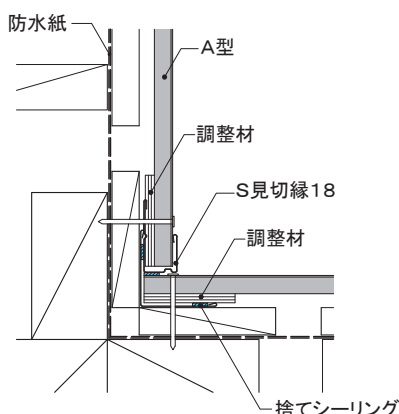
2 各部の基本納まり図

2-4 入隅部

- 横胴縁と縦胴縁は通気のため30mm程度の隙間を設けます。
- センターサイディングの張り始めや張り終わりでオス突を切断するなど、実部に留め付けられない場合は、表面から釘留めします。
木下地の場合は専用釘(φ2.75mm×50mm)を用いて500mm以下の間隔で、鉄骨造の場合は専用ビス(P35)を用いて610mm以下の間隔で留め付けます。
- 捨てシーリングを下図のように施工します。



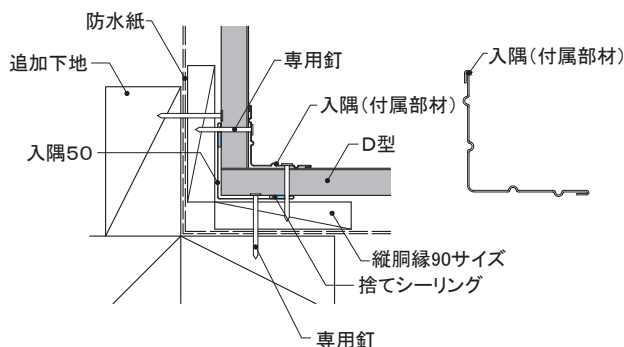
- A型は長手方向に切断すると、実形状および芯材の厚みにより働き幅方向の厚みが変わります。そのまま施工するとセンターサイディングが傾いてしまうため、あらかじめ木材などの調整材を施工します。



2) その他の部材

- 見切縁の他にD型、A型は入隅(付属部材)でも施工できます。
- 入隅(付属部材)は木下地の場合は専用釘(φ2.75mm×50mm)で、鉄骨下地の場合は専用ビス(P35)で500mm以下の間隔で留め付けます。

①横張りの場合



②縦張りの場合

